

日本共産党 八千代市議団 2022年 年頭にあたって



市民の声で 新庁舎3分の2に、 30億円の圧縮

うえだ すすむ
植田 進



市庁舎整備について服部市長は、「教育委員会は新庁舎に集約せず、延べ床面積を計画の3分の2に縮小し、事業費では30億円の圧縮する」と表明。

市民の声と議会での正論が、市長を追い詰めた成果です。今後とも、市民のみなさんと一緒に、住みやすい八千代市におけ頑張る決意です。

誰もが笑顔で 過ごせる八千代に 市財政をチェック

ほりぐち あきこ
堀口 明子



「コロナ禍はいつまで続くの?」と、暮らしに不安を感じている方は未だに多く、福祉予算の拡充が求められています。

小さなお子さんから高齢者のみなさんまで誰もが安心して、笑顔で暮らせるように、八千代市のお金の使い道をしっかりと正していきたいと思ひます。

子どもの権利が 尊重される 学校・地域のために

いはら ただし
伊原 忠



子ども達が自分の意見・考えを自由に発言し、勉強・いじめ・不登校・虐待・校則など、どんなことでも意見を聞いてもらえる権利が尊重される学校・家庭・地域をみんなで作り、平和で安心できる環境づくりのために頑張ります。

市民の声を届け もっと暮らしやすい 八千代市へ!

いいかわ ひでき
飯川 英樹



高すぎる東葉高速鉄道の運賃引下げ、自衛隊の訓練から生活と安全を守る。地域や市民にとって必要な学校や公共施設を守る。歩道や道路の整備と渋滞の解消など、問題は山積しています。

問題を一つずつ解決し、だれもが暮らしやすいと思う八千代市を目指して頑張ります!

日本共産党

参院千葉選挙区予定候補
元衆議院議員

さいとう 和子

斉藤かずこ

新しい年を迎え、決意新たにがんばります。私は、今年7月の参議院選挙に定数3の千葉選挙区から立候補することになりました。総選挙に続き、みなさまに大変お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

憲法は、日本の国のカタチを示し、私たち国民の権利と自由を明らかにし、政府(権力)をしぼるものです。それを真逆に変えようとしているのが改憲勢力です。憲法の条文をよく読むと、そこには誰もがより良く生きられるあったかい社会のあり方が描かれています。もう二度と誰の命も戦争の犠牲にはしないという深い思想があふれています。この「憲法を守り、いかす」議席がどうしても必要です。ご一緒に力を合わせようではありませんか。

